

匠の逸品の運用状況

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2020年4月10日

・当ファンドは、2020年4月6日に第12期（2019年10月8日～2020年4月6日）の決算を迎えました。
・皆様のご支援に心より感謝申し上げますとともに、本レポートでは、第12期の投資環境や運用状況、今後の投資環境見通しなどについてご報告いたします。

1. 第12期の投資環境

国内株式市場は、期首から2020年1月中旬にかけて、米中通商協議の早期妥結への期待が高まったことや、米中の経済指標の好転、円安ドル高の進行などを背景に、エレクトロニクス関連株など景気動向によって業績が変動しやすい銘柄に牽引され上昇基調で推移しました。しかしその後は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、3月中旬にかけて国内株式市場も大きく下落しました。期末にかけては米連邦準備制度理事会(FRB)の緊急利下げと量的緩和策の発表や、日銀による上場投資信託(ETF)買入れペースの増額など、世界的に金融緩和の動きが広がったこともあり、持ち直す動きとなりました。

このような市場環境の中、期首に9,732円(1万口当たり)であった基準価額は、期末に8,579円(同)となりました。また、第12期の収益分配につきましては、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。

2. 基準価額に寄与した主な業種（第12期）

医薬品、精密機器、倉庫・運輸関連業の業種が基準価額にプラスに寄与しました。

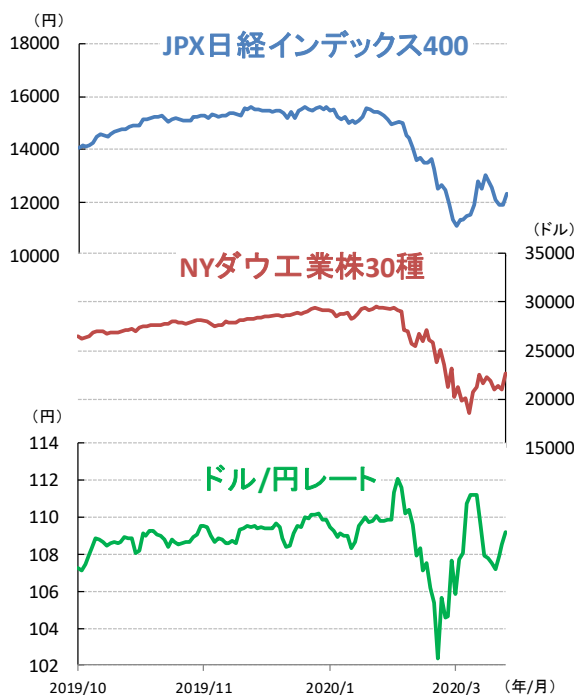
一方、サービス業、電気機器、その他製品などの業種が基準価額にマイナスに影響しました。

3. 基準価額に寄与した主な銘柄（第12期）

複数の医薬品の拡販やロイヤリティ収入の増加に伴う利益成長が期待された中外製薬や、衛生用品の拡販や原材料価格低下の恩恵を受けると期待されたユニ・チャームなどが基準価額にプラスに寄与しました。

一方、世界的な広告需要の減少が懸念された電通グループや、個人消費低迷による業績への悪影響が懸念されたスノーピークなどが基準価額にマイナスに影響しました。

市場動向



(期間) 2019年10月7日～2020年4月6日

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

基準価額に寄与した主な業種、銘柄

プラス寄与業種

業種名
1 医薬品
2 精密機器
3 倉庫・運輸関連業

マイナス影響業種

業種名
1 サービス業
2 電気機器
3 その他製品

プラス寄与銘柄

銘柄名
1 中外製薬
2 ユニ・チャーム
3 HOYA

マイナス影響銘柄

銘柄名
1 電通グループ
2 スノーピーク
3 横河電機

(期間) 2019年10月8日～2020年4月6日

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡します必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式**

4. 当ファンドにおける足元の対応

当ファンドの運用につきましては、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE(自己資本利益率)の水準、方向性、変化等に着目し、投資候補銘柄を選定します。ポートフォリオの構築にあたっては、定量分析、定性分析、バリュエーション、業種別比率等を勘案して行います。3月以降の運用につきましては、中期的にROEの向上が見込まれる銘柄の組入れを継続しました。

具体的な売買につきましては、新潟本社銘柄では、株価下落に伴い指標面での割安感が強まったと判断したアクシアル リテイリングや第一建設工業などの組入比率を引き上げました。また、JPX日経インデックス400構成銘柄では、情報化投資拡大の恩恵を享受できると判断した大塚商會を新規に買い付けたほか、デジタルシフトに伴う利益率改善が期待された任天堂などの組入比率を引き上げました。

3月以降に組入比率を引き上げた主な銘柄

【新潟本社銘柄】

銘柄名	業種
アクシアル リテイリング	小売業
第一建設工業	建設業
スノーピーク	その他製品

【JPX日経インデックス400構成銘柄】

銘柄名	業種
*大塚商會	情報・通信業
任天堂	その他製品
資生堂	化学

(期間) 2020年3月1日～2020年4月6日

(注)*は新規に組み入れた銘柄

※本資料における銘柄情報は個別銘柄の売却、購入等の行為を推奨するものではありません。

5. 今後の見通し ～ 不安定な相場展開を想定

当面の国内株式市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に左右される不安定な展開が継続すると予想されます。新型コロナウイルス感染抑止のため、世界的規模で経済活動が制限されており、正常化にはしばらく時間を要すると見られます。4月後半から本格化する企業決算発表を控えて、足元の業績悪化と慎重な新年度会社計画への警戒感が強まるのが想定され、株式市場も調整局面を迎える可能性があると考えております。ただ、調整局面では日銀によるETF買入れや企業の自社株買いが需給面で下支え要因となると考えられ、バリュエーション面からも下値リスクは限定的と見ています。各国が取り組んでいる新型コロナウイルス感染抑止策の効果が確認され、経済活動正常化への道筋が見えてくれば、投資家心理が好転し、株式市場は調整局面から回復局面へ移行していくと予想されます。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
 追加型投信/国内/株式

運用状況

(作成基準日: 2020年4月6日)

■ 設定来の基準価額の推移



- (注) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 (注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本です。
 (注) 分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
 (注) グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

■ 組入上位10業種

順位	業種名	組入比率
1	電気機器	13.7%
2	情報・通信業	9.6%
3	化学	7.5%
4	サービス業	7.3%
5	機械	7.0%
6	その他製品	4.7%
7	建設業	4.7%
8	小売業	4.7%
9	銀行業	4.2%
10	医薬品	3.9%

■ ファンドの状況

基準価額	8,579 円
純資産総額	2,159,935,637 円
株式組入比率	93.5 %
組入銘柄数	86 銘柄

■ 分配金実績

設定来累計	1700円
-------	-------

※分配金は、1万口当たり(税引前)です。

■ 組入上位銘柄

JPX日経インデックス400構成銘柄

順位	銘柄名	組入比率
1	ユニ・チャーム	3.3%
2	HOYA	3.3%
3	中外製薬	2.9%
4	伊藤忠テクノソリューションズ	2.6%
5	任天堂	2.6%
6	ダイキン工業	2.6%
7	ソニー	2.5%
8	東京海上ホールディングス	2.4%
9	トヨタ自動車	1.9%
10	日本M&Aセンター	1.8%

新潟本社銘柄

順位	銘柄名	組入比率
1	アクシアル リテイリング	1.8%
2	北越工業	1.8%
3	第四北越フィナンシャルグループ	1.6%
4	福田組	1.3%
5	セコム上信越	1.1%
6	スノーピーク	1.0%
7	第一建設工業	0.9%
8	コメリ	0.9%
9	田辺工業	0.9%
10	ブルボン	0.8%

※組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する比率です。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)ファンドの特色

- 主として、わが国の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式のうち、JPX日経インデックス400の構成銘柄(銘柄入替時の予定銘柄を含みます。)および新潟県関連企業の株式に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
 - 投資候補銘柄の選定にあたっては、主に資本の効率的活用を測る指標であるROE(自己資本利益率)の水準、方向性、変化等に注目します。
 - 新潟県関連企業の株式の組入比率は、投資信託財産の純資産総額に対して概ね30%程度とします。ただし、流動性や市場情勢の変化等によっては、新潟県関連企業の株式の組入比率は30%から大幅に乖離する場合があります。
 - 新潟県関連企業とは、新潟県に本社(本店)を置く企業、および新潟県に主要な工場、店舗、施設等がある企業とします。
 - 株式の組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。ただし、市況動向を勘案の上、委託会社が適切と判断した場合、株価指数先物取引等を活用して株式の実質組入比率を大幅に引き下げることがあります。
 - 株式以外の資産の投資割合は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。
- ※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(作成: 運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)
追加型投信／国内／株式

2020年4月10日現在

JPX日経400プラスにいがた・アクティブ(愛称 匠の逸品)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

■ 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

■ ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

■ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。

■ 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

■ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

■ 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

■ 購入時

購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。

■ 換金時

換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

■ 保有期間中

運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.694%（税抜1.54%）

■ その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）

■ 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

●お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

●詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

（受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。）

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会

（金融商品取引業者）

岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長（金商）第169号	○			
--------------	-----------------	---	--	--	--

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）